

令和2年度
事業計画書

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

目 次

1	経営方針	1
2	事業概要	2
3	事業集計表	9
4	公益事業一覧	10
	横浜美術館	10
	横浜みなとみらいホール	12
	横浜能楽堂	14
	横浜にぎわい座	16
	横浜赤レンガ倉庫 1 号館	17
	大佛次郎記念館	19
	横浜市民ギャラリー	20
	横浜市民ギャラリーあざみ野	21
	横浜市磯子区民文化センター	23
	事務局	
	経営企画室 / 総務グループ / 広報・ACY グループ / 協働推進グループ	25
5	管理・運営	27
6	運営施設一覧	29

1 経営方針

企業、大学、ホテルの相次ぐ開業、鉄道延伸や道路の開通、新市庁舎の稼働等、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを目前に、横浜の街は大きく変化しています。

当財団は令和 2 年度を、ラグビーワールドカップ 2019™ に続き、横浜が世界から注目される好機として、中期経営計画(2018-2021)の重点取組を一層推進し、創造性・独自性の高い事業により芸術文化を横浜の魅力の一つとして国内外へ発信し、都市のプレゼンス向上につなげます。

また少子高齢化や人口減少等、これからの社会が抱える課題に対し、芸術文化に期待される役割を踏まえ、様々な主体との連携による社会包摂や次世代育成の事業を通じ、芸術文化を市民や地域に浸透させていきます。

経営面では、年度終盤に、横浜美術館・横浜みなとみらいホールが、大規模改修工事のための長期休館期間に入り、団体運営に大きな影響を及ぼします。変化に柔軟に対応し、継続的にミッションを果たしていくことができる安定的な経営に向け、財団全体で取り組みます。

横浜市芸術文化振興財団 中期経営計画(2018-2021)重点取組み

- 1 横浜らしい特色のある事業の国内外への発信
- 2 子どもたちをはじめとする次世代育成の推進
- 3 芸術と社会をつなぎ、共生社会へ向けた基盤整備
 - (1) 市民文化活動の支援と地域との連携強化
 - (2) 誰もが社会に参画できる取組の推進
 - (3) 創造性を生かしたまちづくりの推進

(1) 事業

令和 2 年度は、文化の祭典としても意義のあるオリンピック・パラリンピックの開催年です。ヨコハマトリエンナーレ 2020 をはじめ、創造性、企画性の高い文化事業の実施により、芸術文化が横浜のさらなる魅力として認識されること、市民に浸透していくことを目指します。

また地域、企業、NPO、ボランティア等、様々な主体と連携・協働し、次世代育成や社会包摂の取り組みを推進します。

(2) 管理・運営

ア 組織・人材育成

中期的な人材育成の考え方を示した「人材マネジメントポリシー」に則し、職員の意欲・能力の評価に応じた処遇の導入、多様な働き方への対応に向けた制度見直しなど、働きやすい環境を整備し、組織力の向上につなげます。

また専門人材について、研修の充実やチーフプロデューサー間の連携強化を推進します。

イ 財務

今後想定される施設の長期休館による予算規模の縮小、働き方改革によるコスト増や人件費の上昇は組織経営に大きく影響を及ぼします。経営の安定化を図るうえで、常に財務状況を管理し、弾力性のある中期的な財政プランを構築します。

また組織横断的なプロジェクトにより、財団全体の業務の流れを見直し、業務の合理化と効率化を行います。

ウ 施設運営

財団が運営する 7 施設において、次期の指定管理者選定が行われます。横浜の文化振興の一翼を担う団体として、「文化芸術創造都市・横浜」を推進する業務計画の作成・提案を行います。

また令和 3 年 1 月から横浜みなとみらいホールが、3 月から横浜美術館が大規模改修工事に伴う長期休館に入ります。利用者・来場者への周知や事務室機能の移転等、着実に実施します。

2 事業概要（中期経営計画(2018-2021)重点取組）

（1）横浜らしい特色のある事業の国内外への発信

東京 2020 オリンピック・パラリンピックは文化の祭典としても大きな意義があります。当財団としても、創造性、企画性の高い意欲的な事業を展開し、社会にインパクトを残すこと、また、芸術文化がレガシーとして、将来に渡り市民の間に広く浸透し、社会を支える重要な要素となることを目指して取り組みます。



ヨコハマトリエンナーレ2020
出展作家 エヴァ・ファブレガス《Pumping》2019

ヨコハマトリエンナーレ 2020 は、インドを拠点に活動するアーティスト集団「ラクス・メディア・コレクティブ」をアーティストティック・ディレクターに迎え、多様な世界観を発信します。また横浜市民ギャラリー、横浜市民ギャラリーあざみ野では現代アートの展覧会を開催し、ヨコハマトリエンナーレ 2020 との相乗効果を高め、広く市民へ普及します。

横浜能楽堂では、日本の古典芸能を発信する好機と捉え年間を通じて公演の外国語対応の充実や施設見学会等に積極的に取り組むとともに、オリンピック・パラリンピック期間中に外国人を対象に和の魅力を発信する事業を展開します。横浜みなとみらいホールでは、世界で注目されるベートーヴェンの生誕250年メモリアルイヤーに合わせ、交響曲第九番に焦点を当てた独自の企画を展開。横浜にぎわい座、大佛次郎記念館でも、館の特色を生かした新しい視点で、横浜ならではの企画を実施します。横浜赤レンガ倉庫 1 号館では、横浜ダンスコレクションを起点にアジアにおけるパフォーマンスを牽引し、芸術文化を通じた国際交流を促進します。

主な事業

横浜美術館

ヨコハマトリエンナーレ 2020「Afterglow—光の破片をつかまえる」

アジア、中東、アフリカ、南米出身のアーティストを中心に 60 名を超える作家による作品やパフォーマンスを発表予定。展覧会に加え、「エピソード」という枠にて「展示」以外の表現やシステムにも着目する。

横浜美術館

トライアローグ 横浜美術館・愛知県美術館・富山県美術館 20世紀西洋美術コレクション

3つの大型公立美術館が所蔵する、20世紀西洋美術による3館共同企画の展覧会を実施。各美術館のコレクションの中核をなす西洋美術の名品約 120 点が一堂に会する。横浜美術館で2月まで開催し、その後、2つの美術館を巡回する。

横浜みなとみらいホール

BTVN2020

「ピアノ第九演奏会」/「ピリオド楽器オーケストラ第九演奏会」

多くの方になじみ深い交響曲第九番「合唱付」を、ほとんど例のない演奏形態で紹介する。

リスト版ピアノソロによる「第九」の全曲演奏では、ピアノ演奏に凝縮された交響曲の世界を紹介。また、「ピリオド楽器オーケストラ第九演奏会」では、作曲当時の楽器を使って、かつての音を再現する。

横浜能楽堂

特別普及公演「家×家 交流狂言」

2008年から開始し、2020年6月で150回を迎える「横浜狂言堂」。これを記念し、狂言の二流七家が一同時に会する特別公演を開催。異なる家の演者の組み合わせによる、通常では観られない狂言公演を行い、新たな魅力を発信する。

横浜にぎわい座

五月企画興行 TAP DO! 横浜公演 in 横浜にぎわい座

芸人、タップダンサー、ミュージカル俳優、ミュージシャンで構成されたユニット、TAP DO!。漫才界の大御所・おぼんも参加。大衆芸能を新しい切り口で紹介する。

横浜赤レンガ倉庫 1号館

横浜ダンスコレクション 2021

アジアを代表するダンスプラットフォームとして26回目の開催となる。原点である振付家やダンスアーティストを養成する視点を改めて打ち出し、また、国内外のダンス拠点やダンスコミュニティとの連携や協働をさらに深め、横浜のダンス拠点としての発信力、機能を強化する。

大佛次郎記念館テーマ展

テーマ展示 II「大佛次郎の住まいをめぐるヒストリー 鎌倉そして横浜」

大佛次郎の「住まい」に焦点を当てる。また、横浜山手に建てられた大佛次郎記念館の設計に浦辺鎮太郎が込めた思いを探る。横浜赤レンガ倉庫1号館で開催される『建築家・浦辺鎮太郎の仕事』展の同期間中、浦辺が設計した市内建物を巡るツアーも実施する。

横浜市民ギャラリー

新・今日の作家展 2020 再生の空間（仮称）

新進および中堅の作家を組み合わせ、現代美術の「今日」性を鋭く反映した表現を紹介。「再生」をテーマに、未来を志向していく行動と日常への関心を喚起するような制作をしている作家を紹介する。

横浜市民ギャラリーあざみ野

あざみ野コンテンポラリーvol.11「関川航平展 弱い文法」（仮称）

2017年にSICF18 PLAY 最優秀賞を受賞した、新進気鋭のアーティスト関川航平を取り上げる。広義の「言葉」をテーマに据えた、公立ギャラリー初の個展を開催する。

(2)子どもたちをはじめとする次世代育成の推進

未来を切り開く子どもたちが、多様な価値に出会い、物事を複眼的な視点でとらえる感性を育むことは大変重要です。今年度も、全ての施設で、子どもを対象とした事業を実施します。

本格的な環境で芸術を鑑賞する機会をつくること、学校や教育機関、福祉施設、病院等、様々な機関と連携した取り組みやアウトリーチを行うこと、プロのアーティストと同世代の仲間と学びあう場をつくることなど、さまざまなアプローチから子どもたちの感性、創造性を育みます。

また、若手アーティスト、クリエイターなど芸術文化の次世代を担う人材の可能性を見出し、芸術文化が次代に継承されるよう、助成や活動の場の提供を行い支援します。



横浜美術館 子どものアトリエ
こども医療センターへのアウトリーチの様子。温かい色水のクッションの上で
身体を揺らしてもらいながら、いろいろな感覚を開放する子どもたち

主な事業

子どもたちを対象とした事業

横浜美術館

子どものアトリエ アウトリーチ / 教育プロジェクト 鑑賞教育事業

子どものアトリエでは、美術館内でのプログラムの他、入院中の子どもを対象としたアウトリーチ等を実施。教育プロジェクトでは、中学校の美術教師と連携したコレクションを活用した授業案の開発や、美術科教員へ向けた鑑賞プログラムを実施する。

横浜みなとみらいホール

こどもの日 2020 コンサート「オリパラ応援コンサート」

ジュニア合唱団の出演や、来場した子どもたちが演奏に参加するなど、子どもが主役のコンサートを実施する。(東京 2020 応援プログラム)

横浜能楽堂

こども狂言堂 / 先生のための狂言講座

夏休みに子どもを対象とした狂言公演を実施。また、小学校国語教科書掲載の狂言「柿山伏」を取り上げ、狂言師による教師向け特別講座を開催する。

横浜にぎわい座

小学生のための寄席体験プログラム / 春・夏のこども寄席

小学生が寄席の鳴り物などを体験し、実際に公演を鑑賞するプログラム。春・夏休みには子どもを対象とした演目での寄席も実施する。

横浜赤レンガ倉庫 1号館

教員のためのダンスプログラム

学校等の教育現場で「表現運動」や「ダンス」に携わる教員等を対象としたダンスワークショップを実施する。

大佛次郎記念館

第7回ミニ・ビブリオバトル

小学4～6年生を対象とした本の紹介ゲーム。各自が本の魅力を3分で紹介し、読みたい本を皆で投票する。中学生のゲストバトラーも参加し、子どもの読書を推進する。

横浜市民ギャラリー

大人のためのアトリエ講座「親が知っておきたい～紙あそび・お絵かきあそび～」

1歳6ヶ月から3歳以下の子どもが実際に造形活動を行う様子から、保護者には子どもの表現活動への関わり方や視点をアドバイスする。

横浜市民ギャラリーあざみ野

横浜市中学校アニメーションフェスティバル

教師のためのアニメーション講座を実施し、その後、教師が学校で実践する中から生まれた生徒らによるアニメーション作品を、複数校で持ち寄り上映するフェスティバルを開催する。

磯子区民文化センター 杉田劇場

ひよこ♪コンサート

元NHK歌のお姉さんなどを起用した、0歳から入場できるコンサート。もうすぐ赤ちゃんを迎えるプレ・ママ/パパ向けトークを行う等、色々な世代が楽しめるコンサートを実施する。

協働推進グループ

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

アートNPOや芸術団体、文化施設、学校、アーティスト、企業、行政などが緩やかに連携し、学校教育の中でのアートの可能性を探る取り組み。事務局構成員として運営に参画する。

若手アーティスト、クリエイターの支援事業

横浜みなとみらいホール

「金の卵を探しています。」／「金の卵見つけました」

音楽家を志す青少年を対象としてオーディションを実施。合格者はプロの奏者をバックにソリストとしてコンチェルトを披露する。

横浜にぎわい座

登竜門シリーズ in のげシャレ

若手芸人が実験的な演目に挑戦できる、研鑽の場と飛躍のための機会を提供する。

横浜赤レンガ倉庫1号館

稽古場サポートプログラム

ホール、スペースを振付家やダンサーの作品創作の場として提供、創作活動を支援する。

アーツコミッション・ヨコハマ

U39 アーティスト・フェローシップ

横浜から世界に羽ばたく若手アーティストを発掘し、キャリア形成を支援する助成を行う。

(3)芸術と社会をつなぎ、共生社会へ向けた基盤整備

芸術文化は、人と人の新しいつながりを生み、双方向の交流と共生を促します。また、新しい価値を生み出し、イノベーションを起こす原動力を秘めており、これらの可能性は、地域コミュニティ、福祉、医療、まちづくり、国際交流、ビジネスなどあらゆるシーンで期待されています。私たちは、下記の3つの取り組みを通して芸術と社会をつなぎ、芸術文化が共生社会へ向けた重要な基盤の一つとなるよう推進します。

ア 市民文化活動の支援と地域との連携強化

市民自らが文化活動を行う機会や場を提供し、芸術文化を通じたコミュニティを支援します。また、地域施設、企業、NPO、市民ボランティア等、様々な主体と連携・協働し、地域のなかに芸術文化を広く普及させます。

横浜市民ギャラリーあざみ野では、これまで築いてきた施設周辺エリアの企業や施設との関係性を、さらに地域における横のつながりへと広げ、地域の活力を生み出す場づくりに着手します。磯子区民文化センターでは、地域の祭り文化を調査・発掘するプロジェクトの集大成として、それらを映像記録にまとめ、地域に広く発信します。



磯子区民文化センター 杉田劇場「杉劇アート de 伝承プロジェクト」
杉田劇場開館15周年記念 杉劇冬まつりライブのオープニングにて
森浅間神社神田囃子森保存会による演奏を上演

主な事業

横浜みなとみらいホール

YOKOHAMA MINATO MIRAI HALL ORGAN COLLECTION 2020

パイプオルガンと横浜の街

学校や教会など地域のパイプオルガンを有する施設との連携企画。日本で初めてパイプオルガンが設置された横浜の歴史をたどり、オルガン音楽の幅広さと地域の魅力を再発見する。

横浜市民ギャラリーあざみ野

「あざみ野河津桜坂文化圏(仮)」形成へ向けた取組

施設の周辺にある、企業、飲食店、公共施設や学校等と連携し、芸術文化を介して、人とのゆるやかなつながりを構築。地域の魅力や活力を生み出す場づくりに着手する。

磯子区民文化センター 杉田劇場

杉劇アート de 伝承プロジェクト

磯子区内の神社に残るお囃子や祭り文化を地域住民とリサーチし、記録映像にまとめる。映像データは、町内会や図書館に配布し、地域の文化を地域全体で継承していく。

協働推進グループ

横濱 JAZZ PROMENADE 2020

地域の企業や商業施設、NPO、音楽団体、多くの市民ボランティアが運営に参画。さらに 2 千人以上のプロ・アマチュア奏者と、10 万人以上の来場者が一体となる、日本を代表するジャズ・フェスティバルを実施する。

広報・ACY グループ

芸術創造特別支援事業リーディングプログラム「YokohamArtLife」

芸術文化が「もっと身近に、もっと気軽に」になるよう、日常的にアートを体験する機会を増やすプログラム。“先導的モデル”となる先進的・実験的なプロジェクトを支援する。

イ 誰もが社会に参画できる取組の推進

SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現は、芸術文化においても統合的に取り組むべき目標です。芸術文化にアクセスすることが難しい方々へ、いかに芸術文化を届けるか。教育機関や、福祉団体、在住外国人の支援組織など、さまざまな専門家や領域との連携から試行錯誤し、芸術文化に誰もが触れることのできる機会を広げます。

横浜みなとみらいホールでは、五感にとらわれない様々な感性を刺激する「きこえる色、みえる音」を実施、多様性を体感することで理解を深めます。また、横浜市でも近年、外国人来訪者、就労者、在住者が増えていることをふまえ、横浜にぎわい座では、外国人も参加できる和の文化体験を、磯子区民文化センター 杉田劇場では、外国人就労者との交流会を実施します。

主な事業

横浜美術館

市民のアトリエ 高齢者施設へのアウトリーチ

特別養護老人ホームへ大学と連携して出向き、造形ワークショップを通して入居者と交流する。

横浜みなとみらいホール

次世代育成インクルージョン・コンサート「きこえる色、みえる音」

義足のダンサー・大前光市と、ジャンルを超えて活躍する三味線奏者本條秀慈郎のコラボレーションなど、舞台と客席の垣根を超えて至近距離で音楽や人間の肉体を感じる、新たなプログラムを実施する。

横浜能楽堂

普及公演「バリアフリー能」

点字パンフレット、副音声、字幕配信などを用意し、障がいのある方も無い方も、同じ空間で共に鑑賞を楽しめる。終演後に障がい者との意見交換会を設け、支援のあり方を模索する。

横浜にぎわい座

水戸大神楽曲芸の体験講座

小学生から大人まで幅広い層を対象とし、日本の大衆芸能への理解を深める。講座では市民サポーターが通訳等を務めることで、外国人の和体験や市民との交流を促す。

横浜市民ギャラリーあざみ野

子どものためのプログラム「親子で造形ピクニック」

個別支援学級、特別支援学校等に通う子どもと保護者を対象とした造形プログラム。それぞれのペースで、安心してゆっくり取り組める環境を用意する。

磯子区民文化センター 杉田劇場

杉劇ニコニコ見本市 / WELCOME いそご

地域作業所や就労支援団体等と連携し、多様な表現を楽しむ作品展「杉劇ニコニコ見本市」や外国人就労者と市民が、芸術文化を通して交流する「WELCOME いそご」を実施し、地域の新たな交流の機会をつくる。

アーツコミッション・ヨコハマ

クリエイティブ・インクルージョン活動助成

アーティスト、クリエイター等が創造性を生かした社会包摂を試みるプロジェクトを支援する。

ウ 創造性を生かしたまちづくりの推進

芸術文化の創造性を活かし、公共空間の活用などを通してまちの活性化に取り組みます。桜木町の紅葉坂周辺エリアでは、5つの文化施設（県立音楽堂、県立青少年センター、県立図書館、横浜市民ギャラリー、横浜能楽堂）が連携し、一帯の魅力を引き出す事業「紅葉ヶ丘まいらん」を東京 2020 オリンピック・パラリンピックの時期に合わせて展開します。横浜赤レンガ倉庫 1 号館では、港の開放的な空間を活かしたアートリンクを、アーツコミッション・ヨコハマでは、関内のオフィス街で展開する「関内外 OPEN! 12」を行い、いつもの風景にアートを取り入れ、公共空間の新たな魅力を引き出します。

アーツコミッション・ヨコハマが進める「文化芸術創造都市・横浜プラットフォーム」では、様々なプレイヤーがつながり、都市の活力となるシナジーが生まれるような場を、市民自らの自由な発想により推進される場として形成します。

また横浜美術館では、全ての企画展で週末の開館時間を延長し、横浜のナイトタイム充実と来訪者拡大を目指します。



アーツコミッション・ヨコハマ「関内外OPEN!12」
コンテンツボラリーズによるワークショップの様子
建築設計事務所のオフィスにて、小さな模型で大きなまちを作るワークショップ

主な事業

横浜能楽堂、横浜市民ギャラリー

紅葉ヶ丘まいらん

紅葉ヶ丘エリアにある文化施設 5 館を意味する英文の頭文字から MYLAN(まいらん)と称し、各施設の特徴を活かして連携することでエリア全体の魅力を創出する。今年度は夏休みの期間に実施することから、子どもを対象とした事業を中心に展開する。

横浜赤レンガ倉庫 1 号館

アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫

横浜赤レンガ倉庫の広場で実施するスケートリンク。アーティストが壁面の美術を手掛けることで、場の魅力とアートとが相乗効果を成し、横浜の魅力発信と賑わいづくりを行う。

磯子区民文化センター 杉田劇場

文化資源発掘隊、こども文化資源発掘隊

地域住民と共に地域の史跡や名勝を訪れ、そこに暮らす地元の方々から話を聞くなどして文化資源を掘り起す。地域文化を再発見し、ガイドマップを作成して広く発信する。

アーツコミッション・ヨコハマ

関内外 OPEN! 12

街を巡りながら、特別公開されるクリエイターの仕事を訪ねる体験型イベント。また、道路上で行う屋外イベントを実施。芸術文化を介することで、公共空間の価値、普段は閉じているオフィスの価値を拓き、新たな魅力を提示する。

3 事業集計表

(1) 公益目的事業

ア 公演・展示・講座等 実施予定数

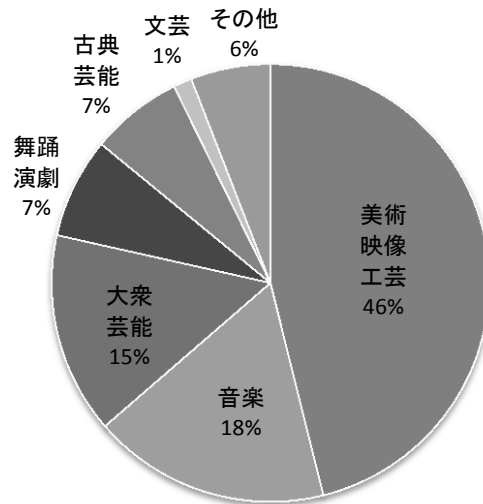
1,763

イ 入場者・参加者数 見込み

約 886,000 人

ウ ジャンル別 公演・展示・講座等 実施予定数

美術 映像 工芸	音楽	大衆 芸能	舞踊 演劇	古典 芸能	文芸	その他	合計
813	309	262	131	120	24	104	1,763



※ 実行委員会事務局等により当財団が参画する公益目的事業(計画時の集計には不算入)

- ・ 横濱JAZZ PROMENADE 2020
- ・ 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2021 (TPAM 2021)
- ・ ヨコハマアートサイト2020
- ・ 横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム
- ・ 横浜赤レンガ倉庫イベント広場での事業(「アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫」を除く)

(2) 収益事業

上に集計した公益目的事業の他、各施設におけるショップ運営、チケット受託販売、駐車場運営等の収益事業を行います。

4 公益事業一覧

■横浜美術館

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月-5月	[企画展]澄川喜一 そりとむくり (※2020年2月15日-5月24日)	企画展示室
2	7月-10月	ヨコハマトリエンナーレ2020「Afterglow—光の破片をつかまえる」	横浜美術館、プロット48
3	11月-2月	[企画展]トライアログ展	企画展示室
4	未定	New Artist Picks	アートギャラリー1、 カフェ小倉山
5	未定	外部との連携	館内

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
6	4月-2月	子どものアトリエ	子どものアトリエ
7	通年	子どものアトリエ アウトリーチ (病院等)	館外
8	4月-2月	市民のアトリエ	市民のアトリエ
9	通年	市民のアトリエ アウトリーチ (高齢者施設)	館外
10	通年	教育プロジェクト 鑑賞教育事業	コレクション展示室、ほか
11	未定	教育プロジェクト アウトリーチ (若者支援)	館外
12	通年	市民協働 ボランティア育成事業	館内
13	通年	ビジターサービス事業	館内
14	未定	横浜美術館コレクションフレンズ (大規模改修後に向けた準備)	館内

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
15	4月-2月	横浜美術館コレクション展 第1期・第2期	常設展示室
16	通年	コレクションの形成・収集調査	館内
17	通年	コレクションの保存・研究	館内
18	通年	コレクションの画像撮影と公開	—
19	通年	コレクションの活用(国内巡回へ向け調整)	—
20	4月-2月	美術情報センター運営及び普及事業	館内

④芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
21	通年	年報発行	—

⑤芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
22	通年	研究紀要発行	—
23	未定	教育普及会議	館内

⑥芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

No.	実施時期	事業名	会場
24	通年	コレクションパッケージ展あるいは企画展の海外巡回 (大規模改修後に向けた準備)	—

■横浜みなとみらいホール

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	5月	こどもの日2020コンサート「オリパラ応援コンサート」	大ホール
2	5月-6月	「金の卵を探しています。」/「金の卵見つけました」	小ホール
3	5月-6月	YOKOHAMA MINATO MIRAI HALL ORGAN COLLECTION 2020 パイプオルガンと横浜の街	大ホール、ほか
4	5月	映画音楽で綴るヨコハマの街「横浜シネマパラダイス」	大ホール
5	7月	障がい児童のための音楽体験事業	大ホール
6	6月-7月	MMCJ ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン ヨコハマ 2020	大ホール、小ホール、ほか
7	7月	次世代育成インクルージョン・コンサート「きこえる色、みえる音」	大ホール
8	8月	横浜銀行Presents こども未来ミュージック・プログラム みなとみらい遊音地	大ホール、ほか
9	9月-10月	心の教育ふれあいコンサート	大ホール
10	9月	デーモン閣下の邦楽維新Collaboration	大ホール
11	10月	発達障がい支援ワークショップ IN 横浜 音と光の動物園	レセプションルーム、 リハーサル室
12	10月	urban strings unit 石田組	大ホール
13	10月	BTVN2020 「ピアノ第九演奏会」	大ホール
14	11月	第39回横浜市招待国際ピアノ演奏会	小ホール
15	11月	BTVN2020 「ペリオド楽器オーケストラ第九演奏会」	大ホール
16	11月	三浦はつみ オルガン・リサイタル	大ホール
17	11月	内田光子withマーラー・チェンバー・オーケストラ	大ホール
18	11月	トレヴァー・ピノック指揮ザルトツブルク・モーツァルトテウム管弦楽団	大ホール
19	11月-12月	全日本学生音楽コンクール/ クラシック・ヨコハマ「生きる」	大ホール、小ホール
20	12月	Just Composed 2020 winter in Yokohama 現代作曲家シリーズ	小ホール
21	12月	庄司紗矢香&ヴィキング・オラフソン デュオ・リサイタル	大ホール
22	12月	ミコラ・ジャジュラ指揮ウクライナ国立歌劇場管弦楽団「第九」	大ホール
23	12月	ジルヴェスターコンサート2020	大ホール
24	4月-12月	オルガン事業の企画制作インターンシップ・プログラム	大ホール、ほか
25	4月-12月	オルガン・1ドルコンサート	大ホール
26	4月-12月	クラシック・マチネ	大ホール、小ホール
27	4月-12月	文化施設連携事業	未定
28	4月-12月	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 定期演奏会/特別演奏会/第九	大ホール

29	4月-12月	日本フィルハーモニー交響楽団 横浜定期演奏会／夏休みコンサート／第九特別演奏会	大ホール
30	4月-12月	読売日本交響楽団 みなとみらいホリデー名曲コンサート	大ホール
31	5月-12月	新日本フィルハーモニー交響楽団 横浜みなとみらい特別演奏会	大ホール
32	4月-12月	(貸館鑑賞公演支援) みなとみらいアフタヌーンコンサート	大ホール
33	4月-12月	(貸館鑑賞公演支援) 華麗なるコンチェルトシリーズ／ウィーン少年合唱団 ほか	大ホール
34	5月-12月	(貸館鑑賞公演支援) 横浜バロック室内合奏団定期演奏会／ヴィルトゥオーゾ横浜／山手プロムナードコンサート ほか	小ホール
35	4月-12月	(若手演奏家育成＝各種コンクール支援) かながわ音楽コンクール／ピティナ・ピアノコンペティション／カワイ音楽コンクール／ヤマハジュニア専門コース ソロコンサート ほか	小ホール

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
36	通年	みなとみらいSuper Big Band	小ホール、 クイーンズスクエア、ほか
37	4月	第12回 国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブ in 横浜	大ホール、小ホール
38	8月	ヤング・アメリカンズ・ジャパンツアー2020	大ホール
39	5月・10月	地域連携渉外事業(かもめスクール、ほか)	レセプションルーム、ほか
40	9月-12月	試聴ラウンジ	レセプションルーム
41	10月	横浜 JAZZ PROMENADE 2020	大ホール
42	11月	全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜	大ホール
43	12月	ヨコハマ・コーラルフェスト	大ホール、小ホール
44	通年	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内小学校

■横浜能楽堂

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月-3月	普及公演「横浜狂言堂」	本舞台
2	6月-7月	特別普及公演「家×家交流狂言」	本舞台
3	7月-8月	芸術創造特別支援事業シンボルプログラム 「和の魅力 発信プログラム(仮称)」	本舞台
4	8月	普及公演 外国人向け普及公演	本舞台
5	10月	特別公演(靱猿)	本舞台
6	10月-2月	企画公演「馬場あき子と行く 歌枕の旅」	本舞台
7	12月	眠くならずに楽しめる能の名曲	本舞台
8	3月	普及公演「バリアフリー能」	本舞台
9	通年	常設展	2階展示廊
10	未定	特別展「歌枕の旅(仮称)」	2階展示廊
11	通年	動画配信事業	—

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
12	4月-7月	初めての能楽教室	楽屋、本舞台、第二舞台
13	6月	第68回横浜能	本舞台
14	8月	「こども狂言堂」	本舞台
15	8月	先生のための狂言講座	本舞台
16	9月-3月	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内小学校
17	11月	第37回かもんやま能	本舞台
18	7月-8月	こども狂言WS 入門編	第二舞台
19	1月-3月	こども狂言WS 卒業編	第二舞台
20	3月	横浜こども狂言会	本舞台

③芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

No.	実施時期	事業名	会場
21	通年	来館促進事業 (施設オープンデー、紅葉ヶ丘まいらん、他)	館内

④芸術文化資源の収集、保存及び活用

No.	実施時期	事業名	会場
22	通年	アーカイブ事業	—

⑤芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

No.	実施時期	事業名	会場
23	通年	調査・研究、国際交流、その他事業	—

■横浜にぎわい座

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月-3月	にぎわい寄席	芸能ホール
2	4月-3月	名作落語のタベ	芸能ホール
3	4月-3月	企画興行(芸能ホール)	芸能ホール
4	4月-3月	企画興行(のげシャール)	のげシャール
5	4月-3月	登竜門シリーズ in のげシャール	のげシャール
6	4月-3月	受託事業、貸切公演、共催事業	芸能ホール、のげシャール
7	4月-3月	事業連携、他施設連携	のげシャール、ほか
8	4月-3月	企画展示・館内装飾	全館

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
9	4月-3月	鑑賞者育成事業(小学生のための寄席体験プログラム、社会人落語初心者向けレクチャー)	芸能ホール
10	4月-3月	講座事業(「寄席文字体験講座」、社会人向け講座)	芸能ホール、ほか
11	4月-3月	アウトリーチ(地域施設への出張寄席)	館外
12	4月-3月	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	芸能ホール、館外

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
13	4月-3月	電子大福帳(公演情報アーカイブ)	---

■横浜赤レンガ倉庫1号館

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	5月	TRIAD	横浜赤レンガ倉庫イベント広場
2	5月	五だ路子ひとり芝居「横浜ローザ 赤い靴の娼婦の伝説」	ホール
3	6月	ノンセクシュアル	ホール
4	7月	夏季共催 展示	スペース
5	9月	Fly By Night～君がいた	ホール
6	10月	森山未来×ヨン・フィリップ・ファウストロム×及川潤耶『SONAR』	ホール
7	10月	大橋可也ダンス公演(仮)	ホール
8	10月	AΦE(エーイー) VR × ダンス公演	スペース
9	12月	冬季共催 展示	スペース
10	12月-2月	アートリンク in 横浜赤レンガ倉庫	横浜赤レンガ倉庫イベント広場
11	1月	福知山市佐藤太清賞公募美術展	スペース
12	1月-2月	横浜ダンスコレクション2021	1号館、ほか
13	3月	great journey 5th	ホール

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
14	5月	赤レンガDance Art 2020(仮)	ホール
15	未定	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内小学校
16	10月	横浜 JAZZ PROMENADE 2020	ホール
17	2月-3月	卒業制作展	ホール、ホワイエ
18	通年	教員のためのダンスプログラム	未定
19	通年	アソシエイト・コレオグラファー制度(仮称)	ホール、ホワイエ
20	通年	稽古場サポートプログラム	ホール、ホワイエ
21	通年	フラワーガーデン、横浜フューリングスフェスト、RED BRICK Resort、横浜オクトーバー・フェスト、クリスマスマーケット	横浜赤レンガ倉庫イベント広場

③芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
22	通年	アーカイブ事業	--

④芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

No.	実施時期	事業名	会場
23	6月	横浜フランス月間 展示	1号館 スペース
24	通年	第4回 HOTPOT 東アジア・ダンスプラットフォーム	--
25	通年	AND+(ASIA NETWORK FOR DANCE)	--

■大佛次郎記念館

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月-9月	テーマ展示Ⅰ「コンとコトン 大佛夫人与白猫ものがたり」	展示室
2	9月-12月	テーマ展示Ⅱ「大佛次郎の住まいをめぐるヒストリー 鎌倉そして横浜」	展示室
3	12月-4月	テーマ展示Ⅲ「大佛次郎と美術(仮)」	展示室
4	3月	大佛次郎賞受賞記念講演会	横浜市開港記念会館

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
5	6月-11月	大佛次郎研究会 公開發表会	神奈川近代文学館2Fホール
6	2月-4月	大佛次郎×ねこ写真展 2021	会議室
7	未定	大佛茶亭公開	鎌倉 大佛茶亭
8	8月	夏休み子どもアドベンチャー	館内
9	11月	第7回ミニ・ビブリオバトル	サロン
10	通年	近隣施設等連携 県博物館協会主催「ミュージアムミッション2020」 横浜市緑の協会主催「山手西洋館ハロウィンウォーク」 横浜山手西洋館ユースギャラリー	館内

③芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

No.	実施時期	事業名	会場
11	未定	和室公開(春・秋)	和室
12	12月	クリスマス茶会	和室

④芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
13	通年	収蔵品展	展示室
14	通年	愛蔵品コーナー展示	展示室
15	通年	資料収集・保存・修復・活用・データベース整理等	館内
16	未定	ブックレット制作	—
17	6月-7月	横浜フランス月間2020コーナー展示	館内

⑤芸術文化に関する調査研究及び政策提言(定款第4条第1項第7号)

No.	実施時期	事業名	会場
18	3月	「おさらぎ選書」刊行	—

■横浜市民ギャラリー

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	9月-10月	[企画展]新・今日の作家展2020	展示室B1、1

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
2	7月-8月	[企画展]横浜市こどもの美術展2020	展示室B1、1、2、3
3	通年	大人のためのアトリエ講座	アトリエ
4	通年	ハマキッズ・アートクラブ	アトリエ
5	10月-2月	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内小学校

③芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

No.	実施時期	事業名	会場
6	通年	紅葉ヶ丘まいらん	館内・館外

④芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
7	3月	[企画展]横浜市民ギャラリーコレクション展2021	展示室B1、1
8	通年	コレクションの保存、修復、研究、(環境)管理、データベース管理と公開	館内

⑤芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
9	通年	「アートヨコハマ」「横浜画廊散歩」「ヨコハマ・ギャラリー・マップ」の発行	—

■横浜市民ギャラリーあざみ野

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	7月-8月	[企画展] あざみ野こどもぎやらい	展示室1、2
2	10月-11月	[企画展] あざみ野コンテンポラリー	展示室1、2
3	1月-2月	[企画展] あざみ野フォト・アニュアル	展示室1、2
4	通年	ショーケースギャラリー	エントランスロビー
5	通年	フェローアートギャラリー	2階ラウンジ、他施設
6	通年	あざみ野サロン	レクチャールーム

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
7	通年	子どものためのプログラム	アトリエ
8	通年	市民のためのプログラム	アトリエ
9	8月	映像関係ワークショップ「教師のためのプログラム」	アトリエ
10	未定	映像関係ワークショップ「横浜市中学校アニメーションフェスティバル」	アトリエ
11	通年	造形活動による学校支援	アトリエ
12	通年	横浜市芸術文化プラットフォーム(4校想定)	館外
13	通年	あざみ野カレッジ「文化芸術部門」「地域資源部門」	アトリエ
14	通年	大学等連携講座・共同ワークショップ	アトリエ
15	通年	あざみ野クリスマス・ジュニアコーラス	アトリエ、音楽室、ほか
16	通年	アートサポーター事業	アトリエ、ほか
17	通年	あざみ野フェローマルシェ	エントランスロビー
18	10月	【センター北共催】アートプラザのお弁当屋さん	アートプラザ(屋外)
19	通年	【センター北共催】ロビーコンサート	エントランスロビー
20	通年	【センター北共催】アートフォーラムフェスティバル	全館
21	7月	あおば美術公募展	展示室1、2
22	未定	フォトジェニック青葉フォトコンテスト	館外
23	11月	青葉区民芸術祭作品展	展示室1、2

③芸術文化活動拠点の開発及び運営

No.	実施時期	事業名	会場
24	通年	あざみ野桜坂文化圏(仮)創出事業	—

④芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
25	通年	カメラ・写真コレクションの保存、修復、研究、データベース管理と公開	—
26	通年	Gallery in the Lobby (小展示)	エントランスロビー

⑤芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
27	通年	情報誌「アートあざみ野」発行	—
28	通年	アーティストインタビュー・アーカイブ	—
29	通年	在住外国人来館促進事業	—

■磯子区民文化センター 杉田劇場

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月、7月、12月	ひよこ♪コンサート	ホール、ギャラリー
2	4月	みんなで歌おう	ホール
3	7月	杉劇アート de 伝承プロジェクト 【伝承プログラム(古典体験)】アート体験塾 横浜夢座	ホール
4	5月	ジェイコブ・コーラー(ピアノ) コンサート	ホール
5	5月	フレンドシップパフォーマンス 昆劇	ホール
6	5月	石田尚泰 ヴァイオリン・リサイタル	ホール
7	6月	杉劇アート講座(お話とピアノコンサート)	リハーサル室
8	6月	美空ひばり復活!	ホール
9	6月	東京プラスアートオーケストラ コンサート 【関連事業】中高生向けワークショップ	ホール
10	7月	アリ・アランゴ(クラシック・ギター) コンサート	ホール
11	8月	気仙沼音楽復興支援 Jazz Live	全館
12	8月	リコーダーフェスティバル	ホール
13	10月	トワイライト・トロンボーン コンサート	ホール
14	12月	杉劇アート de 伝承プロジェクト 【伝承プログラム(古典体験)】アート体験塾 若獅子	リハーサル室
15	1月	杉劇アート de 伝承プロジェクト 真鍋尚之 笙リサイタル 【関連事業】作曲作品公募(5月)	ホール
16	1月	野村道子プロデュース「蝶々夫人」朗読劇	ホール
17	2月	杉劇アート de 伝承プロジェクト 【伝承プログラム(古典体験)】アート体験塾 雅楽	リハーサル室
18	2月	劇団 若獅子公演	ホール
19	2月	椿三重奏団	ホール
20	2月	いそごふるさと寄席	ホール
21	3月	声楽コンサート	ホール

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
22	通年	ちよこつとカフェ 杉劇☆ベストテン	リハーサル室
23	6月	学校スピーチコンテスト	ホール
24	6月	イマージュ ISOGO	ホール
25	8月	WELCOMEいそご (杉劇夏まつりにて実施)	全館、地域施設

26	10月	劇団横綱チユチュ	ホール
27	12月	ISOGO MUSIC FES.	ホール
28	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 【地域文化普及プログラム(つなぎ手・担い手育成)】 杉劇☆歌劇団ワークショップ	ホール、地域施設
29	通年	杉劇ちょこっとカフェ(大人対象)	ロビー、リハーサル室
30	通年	杉劇ちょこっとカフェ(こども対象)	ロビー、リハーサル室
31	2月	杉劇ニコニコ見本市	ホール
32	2月	杉劇アート de 伝承プロジェクト 【地域文化普及プログラム】 杉劇冬まつり	ホール
33	通年	劇団「糸」	地域施設、保育園、高校
34	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 教員向け講座	市内小学校、地域施設
35	通年	杉劇リコーダーず ワークショップ、定期演奏会	リハーサル室、ホール
36	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 【調査・記録プログラム】いそご文化円卓会議	地域
37	通年	杉劇@助っ人隊	全館
38	未定	横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム	市内小学校、地域施設
39	未定	歌声を届けようプロジェクト	市内小学校、地域施設

③芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

No.	実施時期	事業名	会場
40	8月	杉劇夏まつり	ホール
41	通年	ロビーパフォーマンス(12回)、お出かけロビーパフォーマンス(3回)	ロビー、地域施設

④芸術文化資源の収集、保存及び活用(定款第4条第1項第5号)

No.	実施時期	事業名	会場
42	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 【調査・記録プログラム】文化資源発掘隊、こども文化資源発掘隊	ロビー
43	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 文化ガイドマップ作成	—
44	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 【調査・記録プログラム】調査、記録	—

⑤芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
45	通年	杉劇アート de 伝承プロジェクト 【調査・記録プログラム】報告書	—

■経営企画室／総務グループ／広報、ACYグループ／協働推進グループ

①芸術文化の創造及び発信(定款第4条第1項第1号)

No.	実施時期	事業名	会場
1	4月-3月	音楽事業	未定

②芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(定款第4条第1項第2号)

No.	実施時期	事業名	会場
2	7月-2月	市内ジャズフェスティバル、市民ジャズ愛好家団体への運営協力	市内複数会場
3	10月	横濱 JAZZ PROMENADE 2020	市内複数会場
4	10月	ホッチポッチ ミュージックフェスティバル 2020	日本大通り、ほか
5	12月	第7回かながわ留学生音楽祭	関内ホール
6	4月-3月	横浜市芸術文化教育プラットフォーム	市内小中学校
7	通年	ヨコハマアートサイト2020	市内各所
8	通年	アーツコミッション・ヨコハマ相談窓口等	—

③芸術文化活動のための助成(定款第4条第1項第3号)

No.	実施時期	事業名	会場
9	通年	U39 アーティスト・フェローシップ	—
10	通年	クリエイティブ・インクルージョン活動助成	—
11	通年	ヨコハマ創造産業振興助成	—
12	通年	クリエイターのための事務所等開設支援助成	—
13	未定	芸術創造特別支援事業リーディング・プログラム「YokohamArtLife」	—

④芸術文化活動拠点の開発及び運営(定款第4条第1項第4号)

No.	実施時期	事業名	会場
14	11月	関内外OPEN! 12	創造界限、ほか
15	通年	ドックヤードガーデン活用事業(BUKATSUDO)	—

⑤芸術文化に関する情報の収集及び提供(定款第4条第1項第6号)

No.	実施時期	事業名	会場
16	通年	web「ヨコハマ・アートナビ」運用	—
17	通年	創造都市プロモーション	—

⑥芸術文化に関する調査研究及び政策提言(定款第4条第1項第7号)

No.	実施時期	事業名	会場
18	通年	「文化芸術創造都市・横浜プラットフォーム」運営	未定

⑦芸術文化振興のための国内外との交流(定款第4条第1項第8号)

No.	実施時期	事業名	会場
19	2月	国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2021 (TPAM 2021)	KAAT神奈川芸術劇場、ほか
20	未定	英国ホスタウン交流事業	未定

5 管理・運営

横浜美術館および横浜みなとみらいホールの、開館以来はじめてとなる長期休館は、当財団の経営に大きく影響します。

また休館期間を含む数年のうちに、業務の主力を担っている職員から、数多くの定年退職者が出ることから、組織構造の転換が急務となります。

令和 2 年度は、これら内外の環境変化に柔軟に対応できる強固な経営基盤の構築に向け、経営面から、次のように取組んでいきます。

(1) 組織・人材育成

ア 制度・施策の整備

人材育成の考え方を示した「人材マネジメントポリシー」の基本方針に則し、評価制度を段階的に見直してきました。制度改正にあたり、公正な評価を行うため、管理職を対象に評価者研修の実施、評価結果のフィードバックを行い、人材育成に結びつけてきました。

令和 2 年度は、これらの取り組みを引き続き強化していくとともに、評価に応じた処遇を実現し、職員全体のモチベーション向上にむけて、さらなる制度改正を検討していきます。

また数年間で多くの管理職が定年退職をむかえる現状から、定年退職者の再雇用後の職務・処遇について再考し、組織強化を図ります。

イ 専門人材育成

令和元年度に「舞台芸術分野専門人材の必要な能力」の評価軸の見直しと試行を行った舞台芸術の専門人材の評価制度を、令和 2 年度から導入し、動機づけを図ります。また専門文化施設が主体となって行う専門人材研修に専門人材志望者の参加を促し、人材発掘の場としても機能させていきます。

また横浜市が推進する横浜アーツフェスティバル実行委員会に引き続き財団から人材を派遣し、ダンス・音楽分野の企画制作について専門性やノウハウを生かすことでフェスティバルの成功に寄与するとともに、職員の経験・能力向上を図ります。

(2) 財務

令和 2 年度終盤からの、横浜美術館、横浜みなとみらいホール長期休館は、財団の事業規模を縮小し、収入面において大きな影響が生じます。また職員の年齢構成の偏りや、近年の最低賃金の上昇傾向は、支出増加につながります。これらにより、今後数年の財団経営は、流動的であり、厳しいことが予想されます。

強固な経営基盤をつくり、財務を安定させるため、令和 2 年度から次の 4 つの考え方を掲げ、財団全体で財務体質強化に向けた意識改革と財源獲得を目指します。この考え方を基として、年度中に、令和 4 年度以降の中期財務方針を策定します。

また組織横断的なプロジェクトにより、全体の業務の流れを見直し、効率化することで、安定した財務構造の構築につなげます。

財務についての考え方（2020 年度から 2024 年度）

自己収入割合を増加する

各施設長が収支に関する責任と権限を持つ

既存の業務と費用の見直しを行う

財団独自の事業を行う財源を持つことを目指す

（令和 2 年度予算作成方針より）

(3) 施設運営

ア 横浜美術館・横浜みなとみらいホールの長期休館への対応

東京 2020 オリンピック・パラリンピック終了後、大規模改修工事のため、横浜みなとみらいホール、横浜美術館が長期休館に入ります。来場者・利用者等への周知、情報発信、コレクション等の移設、拠点機能移転等、着実に実施するとともに、休館中の芸術文化事業、リニューアルオープン後の計画・実施等、横浜市の所管局とともに取り組みます。

イ 次期指定期間に向けた業務提案

令和 2 年度は、横浜みなとみらいホール、横浜にぎわい座、大佛次郎記念館、横浜市民ギャラリー、関内ホール、市民プラザの次期指定管理者選定が予定されています。横浜の文化振興の一翼を担う団体として、「文化芸術創造都市・横浜」を推進するとともに、市民のニーズに根差した提案を行います。

指定管理施設 指定期間および横浜美術館・横浜みなとみらいホール大規模改修スケジュール(令和元年 12 月現在)

	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
横浜みなとみらいホール	現行指定期間 (~ R4 年 3 月)		次期指定期間 5 年 (R4 年 4 月 ~ R9 年 3 月)		
	休館期間 (R3 年 1 月 ~ R4 年 10 月)		大規模改修工事 (R3 年 1 月 ~ R4 年 6 月)		
横浜美術館	現行指定期間 (~ R5 年 3 月)			次期指定期間 10 年 (R5 年 4 月 ~ R15 年 3 月)	
	休館期間 (R3 年 3 月 ~ R5 年中)			大規模改修工事 (R3 年 10 月 ~ R5 年中)	
横浜能楽堂				次期指定期間 5 年 (R4 年 4 月 ~ R9 年 3 月)	
横浜にぎわい座				次期指定期間 5 年 (R3 年 4 月 ~ R8 年 3 月)	
大佛次郎記念館				次期指定期間 5 年 (R3 年 4 月 ~ R8 年 3 月)	
横浜市民ギャラリー				次期指定期間 5 年 (R3 年 4 月 ~ R8 年 3 月)	
横浜市民ギャラリー あざみ野	現行指定期間 (~ R7 年 3 月)				
磯子区民文化センター	現行指定期間 (~ R7 年 3 月)				
緑区民文化センター	現行指定期間 (~ R6 年 3 月)				
関内ホール				次期指定期間 5 年 (R3 年 4 月 ~ R8 年 3 月)	
市民プラザ (吉野町・岩間)				次期指定期間 5 年 (R3 年 4 月 ~ R8 年 3 月)	

6 運営施設一覧

(1) 運営施設

	施設名	所在地	施設内容
1	横浜美術館	西区みなとみらい 3-4-1	展示室(7室、2,668㎡) 市民のアトリエ(586㎡)、子どものアトリエ(631㎡) 美術情報センター(935㎡) アートギャラリー1(195㎡)アートギャラリー2(167㎡) ミュージアムショップ、レクチャーホール(240席)
2	横浜みなとみらいホール	西区みなとみらい 2-3-6	大ホール(2,020席)、小ホール(440席) リハーサル室(212㎡)、レセプションルーム(176㎡) 音楽練習室(6室)
3	横浜能楽堂	西区紅葉ヶ丘 27-2	本舞台(486席)、第二舞台 研修室(4室)、展示廊等
4	横浜にぎわい座	中区野毛町3-110-1	芸能ホール(391席)、小ホール 練習室、制作室
5	横浜赤レンガ倉庫1号館	中区新港 1-1-1	ホール(最大444席)、多目的スペース(3室)等
6	大佛次郎記念館	中区山手町 113	展示室(35㎡)、ギャラリー(64㎡)、記念室、閲覧 室、サロン、会議室、和室
7	横浜市民ギャラリー	西区宮崎町 26-1	展示室(1,146㎡)、アトリエ(148.6㎡)
8	横浜市民ギャラリーあざみ野	青葉区あざみ野南 1-17-3	展示室(610㎡)、アトリエ(142㎡)、アートプラザ
9	横浜市磯子区民文化センター 「杉田劇場」	磯子区杉田 1-1-1 らびすた新杉田 4F	ホール(310席)、ギャラリー(110㎡)、リハーサル室 会議室(3室)、練習室(3室)等

(2) 指定管理者の共同事業体の一員として管理運営に参加している施設

	施設名	所在地	施設内容
1	横浜市緑区民文化センター 「みどりアートパーク」	緑区長津田 2-1-3	ホール(334席)、ギャラリー(123㎡)、 リハーサル室、練習室(3室)、会議室等
2	横浜市吉野町市民プラザ	南区吉野町 5-26	多目的ホール(200席)、スタジオ(3室) ギャラリー(140㎡)、会議室等
3	横浜市岩間市民プラザ	保土ヶ谷区岩間町 1-7-15	ホール(185席)、スタジオ(4室)、ギャラリー(85㎡) リハーサル室、レクチャールーム等
4	横浜市市民文化会館 関内ホール	中区住吉町 4-42-1	大ホール(1,038席)、小ホール(264席) リハーサル室(4室)等